

微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会
第6回 非/微破壊試験技術の現状と課題整理部会（WG2）議事録（案）

日 時： 平成23年11月29日（火） 10:00～12:00
場 所： JCI 11階 会議室
出席者： 安田副委員長、堤幹事長
（WG2）鎌田主査、小川委員、森濱委員、小林（記録）
（事務局）川上氏

配布資料：6-0 第6回WG2議事次第
6-1 第5回WG2議事録（案）
6-2 第5回全体会議議事録（案）
6-3 報告書目次（案）
6-4 微破壊試験と非破壊試験の比較（強度試験の場合）（森濱委員）
6-5 微破壊検査の適用方法の現状（性能評価と劣化予測）（小川委員）
6-6 非/微破壊試験法の評価対象の現状に関するレビュー（案）（吉田委員）

議 事：

1. 議事録の確認

(1) 第5回WG2(6-1)

鎌田主査より、前回議事録（案）の確認を行い、承認された。

(2) 第5回全体会議(6-2)

鎌田主査より、前回議事録（案）の確認が行われた。

- ・文献引用の依頼状の雛形は、事務局より再度、全委員に配信してもらうこととした。
- ・本報告書における「用語の定義」を全体委員会で確認しておく必要がある。
- ・コストに関しては、あまり言及しない方向としたい。
- ・WEBによるアンケートは30件程度寄せられている模様（WG3）

2. 報告書目次構成の確認（6-3）

堤幹事長より、報告書の目次（案）について説明があった。

- ・委員会設置の趣旨に沿う構成とし、それぞれのWGの活動がみえる形とした。
- ・WG4では、WG1、WG2、WG3の成果がまとめられる。
- ・目次構成は、「将来の姿」、「現状の分析と課題」、「将来に向けての取り組み」とし、12月16日（金）の全体会議で各WGの成果をつき合わせて、修正を加えたい。

3. 報告書の進捗状況（6-4、6-5）

森濱委員より、資料6-4について説明があった。

- ・強度試験の場合を例に、破壊試験、微破壊試験、非破壊試験の特徴を一覧として整理した。

- ・この一覧は、全体の成果を踏まえて活かしたい。
- ・資料 6-5 の表（破壊/微/非破壊試験の比較）にも関係するので、整合させる必要がある。

小川委員より、資料 6-5 について説明があった。

- ・微破壊検査の適用に際しての留意点を示した。
- ・微破壊試験は破壊試験と比べバラツキがあるものの、メリットが大きいことを述べたい。
- ・中性化深さの標準偏差などについては、NDIS3419 で見直しがなされている。
- ・破壊試験、微破壊試験、非破壊試験は必ずしも構造体の強度を反映していないことを述べたい。

4．診断士報告書分析結果（6-6）

鎌田主査より、資料 6-6 について説明があった。

- ・事後の維持管理では非破壊試験に至らず、外観目視に留めているケースも比較的多い。
- ・分析結果はアンケート結果とリンクさせ、微/非破壊検査の位置づけと期待に結び付けたい。
- ・建築、土木の技術者によって、非破壊試験の使われ方が異なる。
- ・分析結果から読み取れることを吉田委員に補足してもらおう。

5．今後の予定

【全体委員会】 日時：2011年12月16日（金） 15 - 17時
場所：JCI 12F 第3会議室

以上

（記録：小林）